

自己評価

学校運営計画(4月)

評価(総合)

Table with 3 columns: 学校運営方針, 学校運営計画(4月), 評価(総合). It details the school's vision, goals, and specific implementation strategies for the fiscal year.

学校関係者評価

評価(総合)

- 自己評価は
A : 適切である
B : 概ね適切である
C : やや適切である
D : 不適切である

Main evaluation table with columns: 評価項目, 具体的目標, 具体的方策, 評価(3月), 次年度の主な課題. It provides a detailed breakdown of evaluation items, objectives, strategies, and future tasks across various departments like teaching, career, and health.

Table with 2 columns: 項目ごとの評価, 学校関係者評価委員会からの意見. It is intended for recording specific evaluation results and committee feedback for each item.

自己評価

学校運営計画(4月)		評価(総合)
学校運営方針	「チーム苅工」として教育活動を展開し、志と自立心・思いやりの心溢れ、グローバルな感覚をもって地域産業を支えるモノづくりのスペシャリストを育成する。	
過去の成果と課題	年度重点目標	具体的目標
<p>過去の成果として、苅田町イルミネーション事業に代表される地域との連携に加え、ものづくりを通して培われた技術・技能を発揮し、九州大会において優勝したマイコンカーラリーや、レスリング部・写真部の全国大会出場など、生徒主体の教育活動が十分に展開できているようになった。</p> <p>今年度は、「チーム苅工」としての教育活動をさらに発展・充実させ、確かな学力を育成するとともに、規範意識や危機管理意識の向上による安全で安心な学校づくり、5Sの徹底、行事を通して育む豊かな心と思いやりの精神など、工業人としての資質の向上とコミュニケーション能力の育成を図る。また、「社会に開かれた教育課程」の視点に立った地域の人的・物的資源の活用など、社会教育との連携を深めることでもたらされる実践を重視したキャリア教育の推進を行う。さらに、ものづくりや部活動、地域行事への積極的な参加によって地域との連携をより緊密なものとし、学校創立60周年に向け、地域に開かれた魅力ある学校づくりと本校のブランド化を図る。</p>	一人一人の人格が尊重される安全・安心な学校づくりの推進と思いやりの心の醸成	<ul style="list-style-type: none"> ○危機管理マニュアルの改善を図り、危機管理意識の向上と対応能力を高める。 ○悩みやいじめの早期発見・早期対応による安心な学校環境づくりを推進する。 ○人権・同和教育、薬物乱用防止教育および命の教育を推進する。 ○豊かな心の涵養を目指した学校行事等の充実を図る。
	「鍛ほめ福岡メソッド」を取り入れた主体的・対話的で深い学びの推進	<ul style="list-style-type: none"> ○好奇心と創造力を喚起するICT等を活用した学習活動の推進を図る。 ○目標に準拠した観点別評価の定着を図る。 ○「ものづくり」への興味関心を育てる工業教育を推進する。 ○朝読書と運動した授業規律の確立を図る。
	自主自立・規範意識の向上・5S(整理・整頓・清潔・清掃・躰)の徹底	<ul style="list-style-type: none"> ○挨拶「服装」「時間厳守」等、基本的な生活習慣の確立を図る。 ○部活動、生徒会活動等の活性化による自主・自立、母校愛と共同の精神の涵養を図る。 ○5S徹底による工業人としての資質の向上とコミュニケーション能力の育成を図る。
	キャリア教育の推進とグローバルな感覚をもった地域に根ざした人材の育成	<ul style="list-style-type: none"> ○資格取得推進と進路マップによる進路意識の醸成を図る。 ○インターンシップや「産業人材育成事業」を活用した体験教育の推進を図る。 ○生徒自身の特性を生かせる進路希望の実現を図る。 ○グローバルな感覚を育成するための教育活動を展開する。
地域に開かれた魅力ある学校づくりとブランド化	<ul style="list-style-type: none"> ○「ものづくり」を通じた地域貢献事業の推進と創造力の育成を図る。 ○地域・中学生・保護者への学校情報の積極的で効果的な発信を行う。 ○地域のボランティア活動への積極的な参加を推進する。 ○地域連携を活かしたブランド化の構築を推進する。 	

評価項目	具体的目標	具体的方策	評価(3月)	次年度の主な課題
企画・広報課	迅速な情報発信	月に1回のHPの更新を行う。早めの中学校訪問や駅等に部活動結果のポスター掲示など、多くの情報提供ができるようにする。		
	学校行事等のスムーズな企画運営と防災意識の向上	各行事に迅速に取り組み、職員への周知徹底をはかる。1学期に実効性の高い避難訓練を実施し、防災意識を高める。		
研修課	学びの質を高めるための授業改革の推進	校内外の研修、研究授業、公開授業への積極的な参加を促し、生徒の学びの質を高める授業改善を図る手助けとする。		
	読書習慣の定着	朝読書の時間を通して、落ち着いた気持ちで学校生活に臨ませ、知識と経験の深淵を図る。		
1学年	工業高校生としての意識と自覚を持たせる	5Sの徹底や学習環境の整備・安全教育等を通して、ルールやマナーを守る態度を育成する。 進路実現を見据え、学校行事や部活動等に積極的に取り組ませる。		
	基礎学力の定着と基本的な生活習慣の確立	遅刻・欠席・早退指導や検温入力等を徹底し、体調の自己管理ができるよう指導する。 課題の提出・授業規律の徹底を通して自発的に学ぶことができる環境を整える。		
	自発的によりよい人間関係・集団作りをさせる	面談や情報交換を密に行い、常に生徒の情報を共有する。 講話や集団での行動を通して自身と他者・社会とのバランスを考えさせる。		
2学年	主体的に行動する態度を身につけさせる	朝の読書や集会など、教員不在中でも主体的に行動できる集団をつくる。 修学旅行などの学年行事や学校行事を通じて、共助の精神を身につけさせる。		
	進路に対する意識づけと基礎学力を向上させる	LHRや朝読の時間等を利用して、主要教科の問題を解かせ基礎学力を向上させる。 工場見学や進路学習、インターンシップ等を通じて、具体的な進路目標を設定させる。		
3学年	生徒全員の希望進路実現	生徒と保護者の希望を把握し、キャリア教育部と連携して全生徒が希望する進路実現を目指す。 最新の進路に関する情報を提供し、生徒自ら希望する進路を選択できるように指導する。		
	社会人として生きる力の育成	挨拶や敬語など、社会人として必要な社会人マナーを身に付けさせる。 3年生として自分の立場を理解し、自ら考え行動できるように指導する。		

学校関係者評価

評価(総合)	自己評価は
	<p>A : 適切である</p> <p>B : 概ね適切である</p> <p>C : やや適切である</p> <p>D : 不適切である</p>
項目ごとの評価	学校関係者評価委員会からの意見

自己評価

学校運営計画(4月)		評価(総合)
学校運営方針	「チーム苅田」として教育活動を展開し、志と自立心・思いやりの心溢れ、グローバルな感覚をもって地域産業を支えるモノづくりのスペシャリストを育成する。	
昨年の成果と課題	年度重点目標	具体的目標
<p>昨年の成果として、苅田町イルミネーション事業に代表される地域との連携に加え、ものづくりを通して培われた技術・技能を発揮し、九州大会において優勝したマイコンカーラリーや、レスリング部・写真部の全国大会出場など、生徒主体の教育活動が十分に展開できようになった。</p> <p>今年は、「チーム苅田」としての教育活動をさらに発展・充実させ、確かな学力を育成するとともに、規範意識や危機管理意識の向上による安全で安心な学校づくり、5Sの徹底、行事を通して育む豊かな心と思いやりの精神など、工業人としての資質の向上とコミュニケーション能力の育成を図る。また、「社会に開かれた教育課程」の視点に立った地域の人的・物的資源の活用など、社会教育との連携を深めることでもたらされる実践を重視したキャリア教育の推進を行う。さらに、ものづくりや部活動、地域行事への積極的な参加によって地域との連携をより緊密なものとし、学校創立60周年に向け、地域に開かれた魅力ある学校づくりと本校のブランド化を図る。</p>	<p>一人一人の権利が尊重される安全・安心な学校づくりの推進と思いやりの心の醸成</p> <p>「鍛ほめ福岡メソッド」を取り入れた主体的・対話的で深い学びの推進</p> <p>自主自立・規範意識の向上・5S(整理・整頓・清潔・清掃・躰)の徹底</p> <p>キャリア教育の推進とグローバルな感覚をもった地域に根ざした人材の育成</p> <p>地域に開かれた魅力ある学校づくりとブランド化</p>	<p>○危機管理マニュアルの改善を図り、危機管理意識の向上と対応能力を高める。 ○悩みやいじめの早期発見・早期対応による安心な学校環境づくりを推進する。 ○人権・同和教育、薬物乱用防止教育および命の教育を推進する。 ○豊かな心の涵養を目指した学校行事等の充実を図る。</p> <p>○好奇心と創造力を喚起するICT等を活用した学習活動の推進を図る。 ○目標に準拠した観点別評価の定着を図る。 ○「ものづくり」への興味関心を育てる工業教育を推進する。 ○朝読書と運動した授業規律の確立を図る。</p> <p>○挨拶「服装」「時間厳守」等、基本的な生活習慣の確立を図る。 ○部活動、生徒会活動等の活性化による自主・自立、母校愛と共同の精神の涵養を図る。 ○5S徹底による工業人としての資質の向上とコミュニケーション能力の育成を図る。</p> <p>○資格取得推進と進路マップによる進路意識の醸成を図る。 ○インターンシップや「産業人材育成事業」を活用した体験教育の推進を図る。 ○生徒自身の特性を生かせる進路希望の実現を図る。 ○グローバルな感覚を育成するための教育活動を展開する。</p> <p>○「ものづくり」を通じた地域貢献事業の推進と創造力の育成を図る。 ○地域・中学生・保護者への学校情報の積極的で効果的な発信を行う。 ○地域のボランティア活動への積極的な参加を推進する。 ○地域連携を活かしたブランド化の構築を推進する。</p>

評価項目	具体的目標	具体的方策	評価(3月)	次年度の主な課題
工業科	機械科 ものづくりの技術向上と資格取得の奨励、安全教育の徹底	危険予知の重要性を指導しながら5S(整理・整頓・清潔・清掃・躰)の徹底を図り、実習中における事故発生ゼロを目指す。		
		各種ものづくりに関する競技大会に参加することで、より高いレベルの技術・技能を身につけさせる。		
	地域や産業界に密着した学科を目指す	産業界に必要とされるようなグローバルな感覚を持った中堅技術者の育成を目指す。		
		ものづくり教室や出前授業などを積極的にを行い、地域に開かれた科を目指す。		
	電気科 資格取得による専門知識の向上と実践的な技術を習得したグローバルに活躍できる中堅電気技術者の育成を目指す	卒業までに全員が第2種電気工事士の取得を目指して、学習活動を展開していき、さらに上級の資格(2級電気工事施工管理技士・電験三種)にも積極的に挑戦させる。		
		産業界の要請に応えられるような実践的な技術を身に付けた電気技術者の育成を目指し、ものづくりなどの技能体験を通して技術・技能を習得させ、創造力豊かな人材を育てる。		
安全教育の徹底と地域との連携を深める活動の推進	5Sを徹底し、安全管理の意識と必要性を伝え、実習の中で実践できるように指導する。また、高大連携やものづくり技術の伝承を行い、職員間で、実践力を養う。			
	地域に密着した活動(エコデンレース・イルミネーション等)を推進し、連携を深める。また、出前授業などを通して中学生に電気科の魅力を発信する。			
情報技術科 基礎的な技術・技能の向上及び進路実現できる資質向上	DD3種、ITパスポートなどの情報技術系の資格取得に積極的に取り組ませることにより、進路意識の高揚と自己実現を目指す。			
	グローバルに活躍できる技術者を育てるために、基礎的な学力、技術・技能の向上を図る。			
	産業人材育成事業等を通じて「ものづくり」の実践的な技術を高めるとともに、地域貢献に取り組む。			
地域に根付いた情報及び電気・電子系技術者の育成	産業現場が求める各種の基礎技術・技能を、ものづくりコンテストや各種大会に挑戦することで、実践的に習得させる。			

自己評価及び学校関係者評価を踏まえた今後の改善策	学校関係者評価
<ul style="list-style-type: none"> ・ ・ ・ ・ ・ 	<p>自己評価は</p> <p>A : 適切である</p> <p>B : 概ね適切である</p> <p>C : やや適切である</p> <p>D : 不適切である</p>
	<p>項目ごとの評価</p> <p>学校関係者評価委員会からの意見</p>
	<p>評価項目以外のものに関する意見</p>